

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● ワーキンググループの中間報告会と研修会を実施しました

去る10月16日、今年度の折り返しを迎え、コンソーシアムの活動状況を会員の皆様にご覧いただくため、各ワーキンググループ（以下、WG）中間報告会を森林文化アカデミーにおいて開催しました。

報告会には会員60名が参加し、6つのWGの各リーダーから次のとおり活動報告がありました。

○木材生産の効率化WG

現場改善プロジェクト（生産性の向上を図るため4つの会員企業が、各々の現場で発生している課題を抽出し、改善策をまとめ経営側に提案し実践していく取組み）の進捗 など

○保育の合理化WG

欧州製苗木用獣害防護資材の県内全域での実地検証、獣害防止のための捕獲の取組み、日独連携のチェーンソーパンツの開発 など

○木造建築の新たな市場開発WG

木質プレハブ、囲柱ラーメン木構造等の開発、会員との共同開発製品の紹介 など

○木質バイオマスエネルギー利用WG

木質バイオマス熱利用設備の導入提案の進捗、農業用トラクターの林業分野での活用の取組み など

○「ぎふの木」の新たな創造WG

自然由来成分による木材の防腐防蟻化の取組み、新たに取り組むスギ由来植物活力液の林業分野での活用 など

○高付加価値木材製品の開発WG（H30年度新規設置）

WGの活動目的と今後の活動内容について

また、7月にコンソーシアム会員で実施した、ドイツ林業先進地調査の報告も行いました。

報告会に続いて、研修会では、長野県の（株）柳沢林業の原社長に「林業から信州・松本平の豊かな風景を作る」と題して講演をいただきました。原社長は若い従業員を束ね山林管理事業を行う傍ら、薪炭、製材、バイオマス、木製品まで、6次産業的な活動を行っておられ、講演では自らが社長となり経営者の立場となって心がけていることや、社員の幸せについての想いを中心にお話いただきました。

今回の報告会を聞いて、新たにWG活動に参加したいとの意見が会員からありました。引き続き皆様の積極的な参加をお願いいたします。



涌井理事長によるあいさつ



満員となった会場



ドイツ製チェーンソーパンツの紹介



ドイツ林業先進地調査の報告



(株)柳沢林業 原社長の講演

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com